



市民の声を正しく美しく伝え実行！！

池上まさみ 通信

2020年の新年を迎えて

2020年1月発行 発行者 池上まさみ後援会
〒321-4323 真岡市東沼1564番地2
TEL・FAX 0285-82-6324
E-mail: yume@ikegami-masami.com

穏やかな新年を迎え心よりお喜び申し上げます。昨年は公私共々大変お世話になりました。令和元年は想定外の自然災害が広範囲でおきました。今年こそは、平穏で安心して暮らせる年になることを願うものであります。また、今年の干支は子年であり、少子高齢化の解消の為にも、子孫繁栄を期待するものです。そして、今年には東京オリンピック・パラリンピックの開催をはじめ、本市においても3月14日、15日の全国いちごサミットをはじめ、9月には、新庁舎が落成するなど大きく変化する年になると思います。これからも市議会議員として、市民の皆様方が少しでも安全・安心して暮らしていけるよう、チェック機関としての機能を忘れずに、さらに皆様方のご意見・ご要望を真摯にお聞きして議会へ反映させていただきます。今後ともご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。

「もおか新時代」会派視察報告

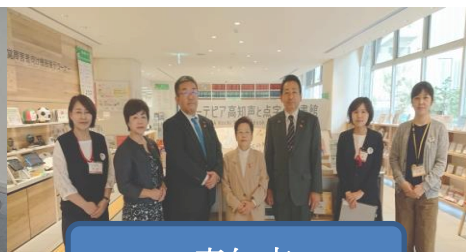
11月12日(火)から14日(木)にかけ、徳島県海洋町及び愛媛県四国中央市と高知県高知市をそれぞれ視察してまいりました。海洋町では、線路と道路の双方を走ることが可能なDMV(デュアル・モード・ビークル)の導入に向け、令和2年度内の運行にむけ準備が進められておりました。真岡鐵道を含め公共交通のあり方について、画期的であり、とても興味深い内容でした。一方、四国中央市では、子ども若者発達支援センターを街の中に、幼児期から就労期まで一貫した支援を行うことを目的に開設され、職員数も施設面もとても充実されており、本市と同じ人口規模での取り組みには、目を見張るものがありました。また、高知市では市街の廃校になった小学校跡地に、県と市の共有の施設である「オーテピア高知図書館」を視察しました。休日には、約5,000人の来館者があり今後、本市でも計画されている街のにぎわいと子育て支援を含めた機能を持った総合施設の先進事例として大変参考になりました。



海陽町



四国中央市



高知市

登壇させて頂きました。12/9 11:00~

12月定例議会は、12月2日(月)から18日(水)に渡って行われました。今議会の執行部からの議案は、真岡市ケーブルテレビ施設の設置及び管理条例の廃止について、真岡市市勢発展長期計画策定条例・真岡市水道事業の設置に関する条例の一部改正や真岡市景観条例の制定、令和元年真岡市一般会計補正予算(第5号)、人権擁護委員の候補者の推薦についてなど25議案が可決されました。

質疑・一般質問は、9日・10日に各5名ずつ10名の議員が登壇し、私は次の3件について質問しました。



*今回は、一問一答方式で行いました。

1件目 災害の対応について



(1) 防災ラジオについて

質問 FM開局に向け現在の進捗状況はどのようになっているのか。

- 昨年10/24に(株)FMもおかと基本協定書を締結し、予備免許を現在取得中であり、今年の11/15に開局の予定で順調に推移している。

質問 防災ラジオの普及計画は具体的にどのように考えているのか。

- 自治会関係者、民生・児童委員、視覚障がい者世帯、入院・入所が可能な施設そして、特に高齢者世帯、一般世帯の普及を考えている。

質問 特に一人暮らしを含め、防災ラジオ導入に関して補助やレンタル等の考えは現時点ではあるのか。

- 他の自治体では、自治会関係者や民生・児童委員や身体に障がいを持つ方には無償で貸与し、高齢者や一般世帯に対しては、一部補助をしていることから、現時点では、他の自治体を参考にして努めていく。

再質問 防災放送は、一般のFMラジオでも聞くことができるのか。

- 電源スイッチが入っていれば通常のFMラジオでも受信は可能である。

要望

災害は、いつ起きるかがわからない。情報を得る手段は数多くあった方がいいので開局に間に合うように防災ラジオの普及を早急に進めるよう要望する。

(2) 防災リーダーについて

質問 防災リーダーの現状人数と今後の育成計画については、どのように考えているのか。

- 防災リーダーは、区数134区に対して現在61名であり、今年度13名が受講をしている。各区に対して1名以上の防災リーダーが必要と考え、各区に対して要請していく。

再質問 防災リーダーの周知方法はどのようになっているのか。

- 今まで育成中心であった為、今後市民に対して周知をできるようにしていく。

質問 防災リーダーの活用が十分に活かしきれていないと思われるが原因と対策はどのように考えているのか

- 防災リーダーの主な活動は、住んでいる地域の防災訓練や減災活動、避難訓練、出前講座、座談会などの企画等を個別に行っていただいている活動である。また、各自治会からの推薦により研修を受講していただいている。今後は存在を広く認知していただけるよう情報を更に共有できるようにして、防災リーダーの活動がより活発にきるよう支援していく。

2件目 公共施設管理について

(1) 廃校の管理状況について

質問 廃校の3校の現状はどのようになっているのか。

- 校舎の電気設備や水道設備、消防設備等の法定点検を実施し維持管理をしている。

再質問 新聞にも報道され廃校利用が決まったと聞いているが外見は何も変わっていないのはなぜか。

- 令和元年度に優先交渉権を決定したところであり、これから順次に進捗がなされていく。

質問 廃校後の小学校の校庭の管理はどのように管理しているのか。特に旧東沼小学校について伺う。

- 廃校後の小学校は予算を取って、年2回除草作業、および樹木の病虫害防除作業を行っている。また、交通に支障のある枝の剪定を実施している。

再質問 年2回では、所によっては不足なく、危険であり、補正予算を取っても管理をするべきではないか。

- 現状を見て、早急に対応していく。

質問 廃校後の利活用の過程において制限・規制等が多くそれに伴う支出も高額に上がっていると聞いている。その現状をどのようにとられ、今後支援していくのか。

- 建築基準法の用途変更や都市計画法の開発行為に関する手続きを簡素化できるように県や国に働き掛けている。また、廃校の施設の改修費用については、賃貸借契約の協議に合わせて負担内容の検討をしている。



要望

校舎や校庭の管理をさらに徹底して、廃校後の再利用がしやすいように行政として最大限の支援を要望する。

(2) 学校の適正配置について

質問 児童生徒数の変化を踏まえた学校の適正配置については、どのように考えているのか。

- 国の「公立小学校・中学校の適正規模・適性配置等に関する手引き」を参考にして児童生徒の安全面や地域の実態を踏まえ、適切な通学手段が確保できるようにしていく。

再質問 廃校のバランスを見てみると他（大内地区）での廃校は考えていないのか。

- 子どもの出生数の見通しや地域の実態の動向を見ながら将来的に考えていく。現在、新たな統廃合の計画はない。

再質問 小中校一貫校の考えはあるのか。

- 通学区域・施設形態、先行実施した学校の成果等を検証して、慎重に事を運ぶべきと考えている。

3 件目 交通問題について

(1) いちごタクシーといちごバスについて

質問 現状の課題等については、どのような方法でつかんでいるのか。

- 無作為の市民1,000人及び高齢者運転免許自主返納支援事業申請者656人といちごタクシー、いちごバス利用者150人に対してアンケート調査で課題をつかんでいる。また、市長と各自治会や各種団体との話し合いで把握している。

質問 現状の利用状況を見て、問題や課題をどう分析しているのか。

- いちごタクシーは、5台の運行であり、目的地が多く時間帯により、予約がとりにくい。また、いちごバスは、市外運行の要望が多い事と、1周する時間が長い事が課題である。

質問 今後どのような方法で、令和6年度のそれぞれの目標値をクリアしていくのか。

- いちごバス・タクシーの運行方法や運行エリアの見直しを行い利便性を高めていく。



(2) 高齢者の交通事故防止について

質問 高齢者の交通安全教室は、どれくらいの周期で開催され、効果的にはどのように向上しているのか。

- 各地域で年間延べ40回、1,400名の参加を予定して毎月のように開催している。その効果は、事故件数、死者数ともほぼ横ばいである。

質問 ブレーキアシストシステムなど安全装置の補助金導入についての具体的な検討期間・実施見込み等はどのように考えているのか。

- 国では、65歳以上の高齢者を対象とした安全装置や後つけ急発進防止装置の補助を検討するとのことであり、今後の動向を注視していく。

再質問 本市単独先行で補助を進める考えはないのか。

- 今のところ考えていない。

要望

高齢者の事故は、気をつけていても身体的な衰えもあり、安心して暮らしていくには、国の動向も理解できるが、市政として早急の対応を要望する。

Q【質問？教えて！！】

* 真岡市の国民健康保険料は各市町に比べて高くないのか。

国民健康保険料の内訳

- ・医療分
- ・後期高齢者支援分
- ・介護分（40～64歳のみ）

これらを合わせた金額です。
令和元年より、資産割が廃止されました。

A【お答えいたします！】

● 国民健康保険料は、医療分、後期高齢者支援分、介護分のそれぞれに所得割、均等割、平等割が課されて算出されており、賦課限度額（上限額）があります。真岡市の所得割を見てみると、総合的に14市では中間であり、決して高くはありません

【県内の他市と本市の所得割比較】

【真岡市】

*医療分（5.5%～8.2%）

7.0%

*後期高齢者支援分（2%～2.6%）

2.5%

*介護分（1.7%～2.4%）

2.1%